

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成24年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	埋蔵文化財試掘調査事業（薄磯地区）	事業番号	A-4-3
交付団体	いわき市	事業実施主体（直接/間接）	いわき市（直接）		
総交付対象事業費	30,747千円	全体事業費	30,747千円		

事業概要

いわき市復興事業計画等に伴い実施する国土交通省所管の基幹事業「D-17：都市再生区画整理事業（被災市街地復興土地区画整理事業等）」の区域内における周知の埋蔵文化財（薄磯貝塚、中街A遺跡、中街B遺跡、南街遺跡、薄磯南作遺跡）の試掘調査については、第1回交付金事業として採択され実施したところである。この試掘調査の結果、薄磯貝塚から、予想外の遺物（縄文・弥生時代の土器、石器、獣骨、平安時代の製塩土器）が多数出土した。また、製塩土器の出土により、薄磯貝塚には、福島県内初の古代の塩作りに関する遺構も存在する可能性が大きいと考えられる。このため、薄磯貝塚の範囲や内容の再確認（遺構の広がりや深さ及び密度の把握）や、今後実施される開発工事への影響を最小限にすることを目的に、調査対象範囲を拡大するとともに、詳細かつ精度の高い試掘・確認調査を追加実施するものである（調査対象面積：200㎡）。

また、薄磯地区における被災市街地復興土地区画整理事業等において、高台造成（山林）の計画がある場所（1箇所）は、大規模な開発を伴うものであり、復興事業の円滑な実施を図るため、当該地における遺跡の所在・範囲を確認するため、試掘・確認調査を実施する（調査対象面積：865㎡）。

【復興ビジョン】

○取組の柱1 被災者の生活再建

主な取組み：津波等により被害を受ける危険性の低い場所への集団移転なども視野に入れ、一刻も早く本格的な生活再建ができるよう、様々な取組みを進めます。

○取組の柱3 社会基盤の再生・強化

主な取組み：被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活かした土地利用計画を策定します。

【復興事業計画（第一次）】

○取組の柱3 社会基盤の再生・強化 (1) 生活基盤の再生

取組名：被災市街地復興土地区画整理事業

取組内容：広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、被災市街地復興土地区画整理事業等により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する。

○重点施策 1 津波被災地域の復興に向けた土地利用プロジェクト

当面の事業概要

<平成24年度> 試掘・確認調査

東日本大震災の被害との関係

当該地区は、東日本大震災の大津波により、区域の大部分が浸水し、壊滅的な被害を受け、多くの犠牲者を出した。

【国土交通省の直轄事業による調査結果：平（薄磯）地区】

死者：103名、全壊・大規模半壊：320棟、半壊・一部損壊：19棟

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等（いわき市交付分）

No.	3	事業名	埋蔵文化財試掘調査事業（薄磯地区）	基幹事業	基本国費率(a)	1/2
-----	---	-----	-------------------	------	----------	-----

(千円)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	合計
事業費	総事業費(b+f)		30,747					30,747
	交付対象事業費(b)		30,747					30,747
	うち、市町村以外の者が負担する額を減じた額(C)		30,747					30,747
	うち交付金交付額(d) ○基幹事業の場合 (d) = a × b + (c - a × b) / 2 ○効果促進事業等の場合 (d) = 0.8c	0	23,060	0	0	0	0	23,060
	対象外事業費(f)	0	0	0	0	0	0	0
事業工程	交付対象事業		<ul style="list-style-type: none"> ・薄磯貝塚ほか4遺跡の試掘・確認調査 ・薄磯貝塚の試掘・確認調査の追加実施 ・高台造成地(1箇所)の試掘・確認調査の実施 					
	対象外事業							

(参考様式)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成24年度)

平成24年11月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	3	事業番号	A-4-3	事業名	埋蔵文化財試掘調査事業	事業実施主体	いわき市	
項目	平成24年度								備考	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
試掘調査の準備 (被災市街地復興 土地区画整理事業等関連)							→		薄磯地区 (薄磯貝塚) (高台造成地)	
試掘調査の実施 (被災市街地復興 土地区画整理事業等関連)								→	薄磯地区 (薄磯貝塚) (高台造成地)	
【参考】試掘調査(第1回 交付金事業分)	→									薄磯地区 (薄磯貝塚) (中街A遺跡) (中街B遺跡) (南街遺跡) (薄磯南作遺 跡)

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称／目的及び内容		交付金の算出方法		
事業名	埋蔵文化財試掘調査事業	事業費 (A)	962	
箇所名	薄磯地区	控除額 (B)		
事業施行期間	平成24年度～平成27年度	交付対象事業費 (C)=(A)-(B)	962	
平成24年度 経費の配分		基本国費率	1/2	
調査費	962	交付額(D)	721	
事業費計 (A)	962	摘要		
		事業の種類	数量	金額
		試掘調査	200㎡	962
		事業費・計		962

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称／目的及び内容		交付金の算出方法		
事業名	埋蔵文化財試掘調査事業	事業費 (A)	29,785	
箇所名	薄磯地区	控除額 (B)		
事業施行期間	平成24年度	交付対象事業費 (C)=(A)-(B)	29,785	
平成24年度 経費の配分		基本国費率	1/2	
調査費	29,785	交付額(D)	22,338	
事業費計 (A)	29,785	摘要		
		事業の種類	数量	金額
		試掘・確認調査 (薄磯地区・薄磯貝塚)	200㎡	22,000
		試掘・確認調査 (薄磯地区・高台)	865㎡	7,785
		事業費・計		29,785

復興交付金事業（第4次申請）に係る事業概要について

【事業名】（A-4-3）埋蔵文化財試掘調査事業（薄磯地区）

◎被災市街地復興土地区画整地事業等の実施区域内における埋蔵文化財発掘調査

1 薄磯貝塚の試掘・確認調査の追加実施

【事業概要】

薄磯地区における被災市街地復興土地区画整地事業等の実施区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地（薄磯貝塚・中街A遺跡・中街B遺跡・南街遺跡・薄磯南作遺跡）の試掘・確認調査（第1次復興交付金事業）を実施したところである。

これら実施した調査のうち、薄磯貝塚から、予想外の遺物（縄文・弥生時代の土器、石器、獣骨、平安時代の製塩土器）が多数出土した。また、製塩土器の出土により、薄磯貝塚には、福島県内初の古代の塩作りに関する遺構も存在する可能性が大きいと考えられる。

このため、薄磯貝塚の範囲や内容の再確認（遺構の広がりや深さ、及び密度の把握）や、今後実施される開発工事への影響を最小限にすることを目的に、調査対象範囲を拡大するとともに、詳細かつ精度の高い試掘・確認調査を追加実施するものである。

【事業費】 22,000 千円

- ・調査面積を 200 m²と設定し、事業費を積算した。
- ・200 m²×110,000 円/m²=22,000 千円

【調査の実施年度】 平成 24 年度（平成 25 年 1～3 月）

2 高台造成予定地の試掘・確認調査

【事業概要】

薄磯地区における被災市街地復興土地区画整地事業等の実施区域内における高台造成予定地（開発対象面積 173,000 m²）は大規模な開発エリアであり、当該復興事業の円滑な実施を図るため、試掘・確認調査を実施するものである。

【事業費】 7,785 千円

- ・調査面積を 865 m²と設定し、事業費を積算した。

（調査対象面積 865 m²の設定根拠）

調査対象エリア 17,300 m²（173,000 m²×10%）×5%=865 m²

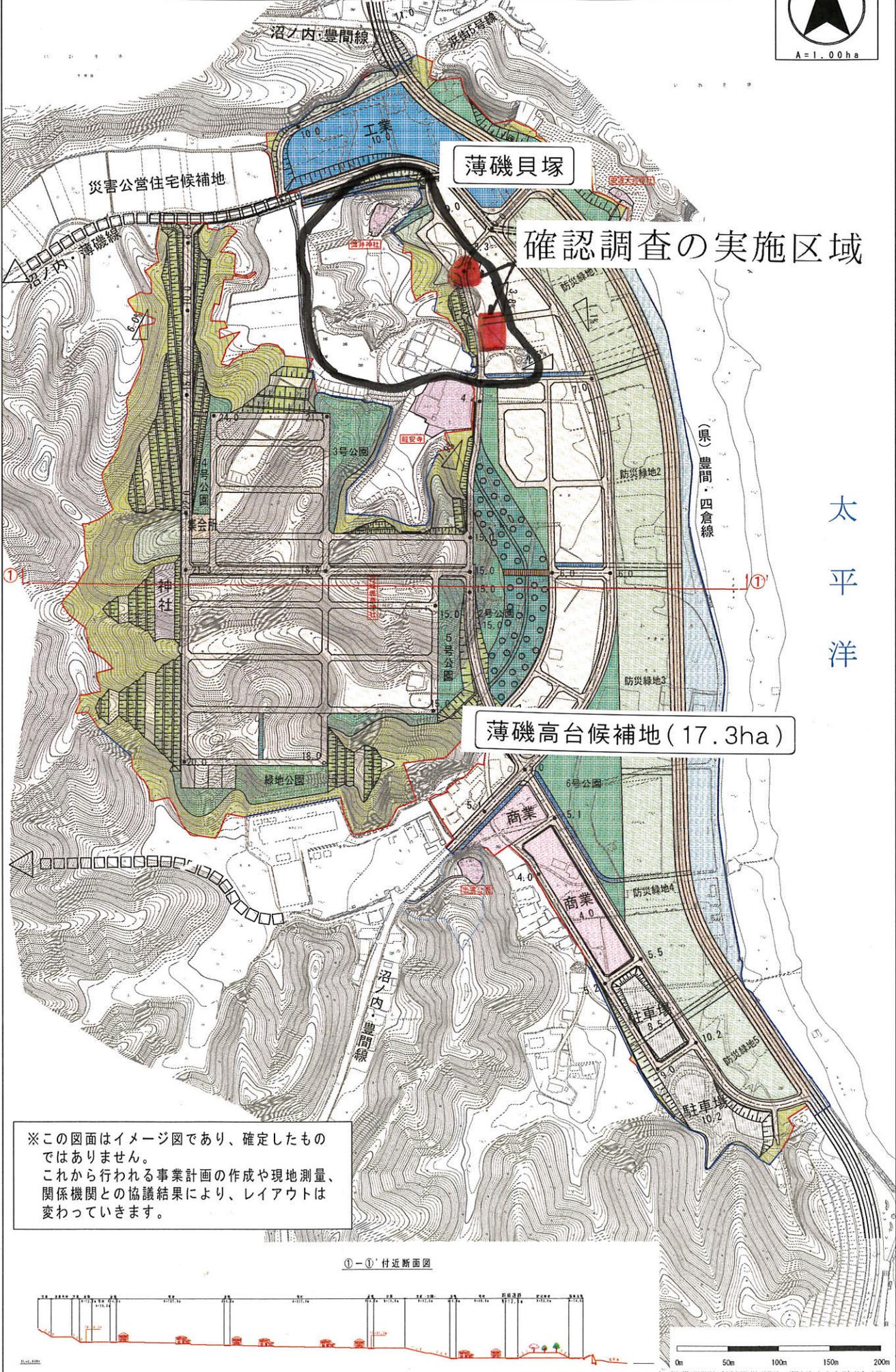
※10%：平坦面として想定

※5%：埋蔵文化財包蔵地（10%）×1/2（文化庁確認済み）

- ・865 m²×9,000 円/m²=7,785 千円

【調査の実施年度】 平成 24 年度（平成 25 年 1～3 月）

薄磯地区 土地利用計画図 (イメージ図)



薄磯貝塚

確認調査の実施区域

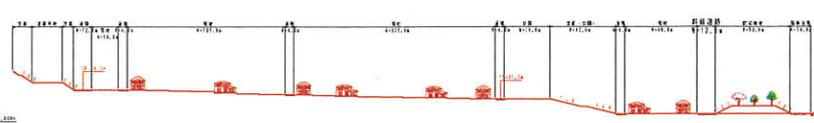
薄磯高台候補地 (17.3ha)

太平洋

(県) 豊間・四倉線

※この図面はイメージ図であり、確定したものではありません。
 これから行われる事業計画の作成や現地測量、
 関係機関との協議結果により、レイアウトは
 変わっていきます。

①-①' 付近断面図



市町村名 **いわき市**
(旧市町村名) []

福島県埋蔵文化財包蔵地台帳

番号	市町村コード	遺跡番号
(旧番号)	2044	00423
	204	00423-01181-01182

ふりがな	うすいそかいづか	所在地	いわき市平薄磯字三反田・北街 地内	指定等	国・県・市・町・村・重要遺跡
名称	薄磯貝塚				
(旧名称)	薄磯貝塚・三反田B・C遺跡				
種別	官衙跡・城館跡・社寺跡・古墳・横穴墓・その他の墓・塚・貝塚・石造物・窯跡・製鉄跡・その他の生産遺跡 ()・散布地・集落跡・その他 ()				
時代	旧・(縄文(草・早・前・中・(後)・晩)・弥生(前・中・後)・古墳(前・中・後)・奈良・平安・中世(鎌倉・室町・戦国)・近世・明治・大正・昭和・不明)				
遺立地	台地上西側裾部		位置図 (1/25,000)		
範囲	東西 × 南北	210 × 133 m	面積	27,930 m ²	
現況	宅地等・公園等・工場等敷地・水田・畑地・山林・道路・(荒蕪地)・原野・湖底等・その他 ()				
主な遺構	7箇所(A~G地点)の貝塚あり				
主な遺物 (土器型式等)	縄文土器; 後期・晩期(大洞B式、大洞C式、大洞C1式、大洞C2式)、弥生土器; 中期前葉・土錘・土偶・装身具、石器; 石鏃・石錐・石匙・薄片・石核・石斧・磨石類、石製品; 石錘・軽石・石剣・石刀・石棒・玉類、石製タレット、骨角器; 釣針・銚・骨鏝・ヘラ状製品・鹿角製斧状製品・装身具、貝製品; 貝輪・貝刃、動物遺存体、貝類				
保管場所	いわき市教育委員会				
保存状況	良好・(記録保存(全面・一部))・(消滅(全面・一部))・(盛土保存等有り)・不明 ()				
文献等	1976年(昭和51年)3月 いわき市発行『いわき市史』第8巻 1982年(昭和57年)3月 いわき市教育委員会発行『薄磯貝塚埋蔵文化財調査報告 第19冊』 1988年(昭和63年)3月 いわき市教育委員会発行『薄磯貝塚いわき市埋蔵文化財調査報告 第19冊』 1991年(平成3年)3月 いわき市教育委員会発行『福島県の貝塚-県内貝塚詳細分布調査報告-』 2004年(平成16年)3月 いわき市教育委員会発行『薄磯貝塚(三反田B遺跡)いわき市埋蔵文化財調査報告 第100冊』				
備考	調査歴 1982年(昭和57年)2月 範囲確認調査 調査機関; いわき市教育委員会 1982年(昭和57年)7月~12月 発掘調査 調査機関; いわき市教育委員会 2003年(平成15年)11月 発掘調査 調査機関; いわき市教育委員会 三反田B・C遺跡を包括した。				
現地調査年月	平成 5 年 6 月	記載者	猪狩みち子(松崎 真)	確認者(県)	

